

2021年6月25日
北海道電力株式会社

2021年6月25日 社長会見要旨

【会見要旨】

本日は、先ほど終了いたしました「第97回定時株主総会」および総会後の取締役会で決定いたしました「役員・執行役員人事」などについて、お話しいたします。

【株主総会の開催報告について】

最初に、本日の株主総会についてご報告申し上げます。

本日、午前10時から、札幌ビューホテル大通公園で開催し、11時20分に終了いたしました。

ご出席いただきました株主さまは、64名でした。

ご出席されました株主の皆さまにおかれましては、昨年同様、総会の開催にあたり、新型コロナウイルスの感染防止対策にご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。

議案の審議結果につきましては、当社が提案したすべての議案について多数の株主さまの賛成を得てご承認をいただきました。

株主さまがご提案された議案につきましては、いずれも否決されました。

また、株主さまからは、脱炭素に向けた電源計画や泊発電所の再稼働などについてご質問やご意見をいただきました。

いずれのご質問につきましても、株主の皆さまにご理解いただけるよう丁寧にご説明し、ご意見につきましては今後の社業運営の参考にさせていただきます。

株主さまからは、特に泊発電所をはじめとする電源に関するご質問やご意見を多くいただきましたので、改めて私から当社の考えを述べさせていただきます。

現在、国において、次期エネルギー基本計画の検討が進められており、その中で 2030 年の電源構成についても議論されています。

日本のエネルギー政策では、安全確保を大前提としたうえで、エネルギーの安定供給、経済性、環境保全を同時達成する「S+3E」の視点が重要とされています。

そのため、電力供給においては供給力、調整力そして脱炭素などといったそれぞれの電源としての特性を踏まえ、原子力や火力、再生可能エネルギーなど多様な電源を活用していくことが大切です。

特に、原子力は、燃料供給の安定性、長期的な価格安定性を有するほか、再生可能エネルギーと同様に発電時に CO2 を排出しない特徴があります。

当社は、火力発電所の経年化が進んでいる中、北海道内における電力の安定供給を確保しつつ、競争力のある電源構成を早期に実現して低廉な電気をお届けするため、引き続き安全確保を大前提とした泊発電所の早期再稼働に向けて総力をあげて取り組んでいきます。

また、再生可能エネルギーの導入拡大や石狩湾新港発電所 2 号機の

建設などにより、安定供給確保と経済性、CO₂ 排出低減などの観点からバランスの取れた電源構成を目指していきます。

このほか、北海道における再生可能エネルギーの導入拡大や安定供給の確保という観点からは、新たな北海道本州間連系設備、いわゆる新々北本の整備も重要と考えており、北海道電力ネットワークが 2028 年 3 月の運転開始に向け、関係者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、コスト低減に努め、安全第一に工事を進めていきます。

本日の株主総会では、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて再生可能エネルギー発電事業の拡大や脱炭素化に貢献する泊発電所の最大限活用に加え、水素・アンモニア燃焼などの新技術の導入などにより、発電部門からの CO₂ 排出ゼロを目指して取り組んでいくこともご説明しました。

カーボンニュートラルに向けた対応については、さまざまな手段のうち、CO₂ フリーの電気で水素を製造して利活用する取り組みが重要になってくるものと考えています。

当社は、国や道、自治体、他企業などとも連携しながら、北海道内の豊富な再エネ由来の水素を活用した「水素サプライチェーン」を構築し、将来的に、北海道が水素社会のパイオニアとなるようほくでんグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

【役員人事・執行役員人事について】

次に、お手元にお配りした資料をご覧ください。役員人事・執行役員人事について申し上げます。

本日の株主総会において、取締役候補 11 名、監査役候補 2 名をご承認いただきました。

その後、開催されました臨時取締役会において、取締役の役職、役付執行役員の委嘱業務・担務について、また、監査役会において、常勤の常任監査役について、それぞれ正式に決定いたしました。

その内容は、お手元にお配りしております、資料「役員委嘱業務・担務」のとおりです。

取締役につきましては、この 11 名の体制で、現下の経営課題に的確に対応してまいりたいと考えております。

役員人事につきましては、以上です。

＜執行役員人事＞

続いて「常務執行役員ならびに執行役員の任用」について申し上げます。お手元の資料「執行役員人事」をご覧ください。

再任 3 名、新任 1 名の常務執行役員、ならびに再任 13 名、新任 4 名の執行役員を任用いたします。

役員および執行役員の人事については以上です。

【東京オリンピック・パラリンピック大会について】

次に、開催まで 1 か月を切った東京オリンピック・パラリンピック大会についてです。

ここ札幌においても、マラソンや競歩、サッカー競技が実施され、その模様が全世界に向けて発信されます。

大会を電力供給の面から支える事業者として役割をしっかりと果していけるようほくでんグループは、これまで、サイバーセキュリティ対策

も含め、供給対策や訓練などの対応を進めてまいりました。

競技実施期間中は、私をトップとしてほくでんグループを挙げて、24時間態勢でしっかりと対応していきます。

【新型コロナウイルスワクチンの職域接種について】

最後に、すでにお知らせしておりますが、新型コロナウイルスワクチンの職域接種について、一言申し上げます。

当社は、指定公共機関としてライフラインを守っていくことや、自治体のご負担軽減などに少しでも協力したいと考え、希望するほくでんグループの従業員などに対し、職域接種を実施することとしました。

まずは、7月5日からの予定で中央給電指令所や石狩湾新港発電所がある札幌市近郊の事業所を対象に接種を開始していきます。

また、苫東厚真発電所を中心とした苫小牧地区、泊発電所を中心とした後志地区においても過日、申請させていただき、当社としてできる限りの準備を進めてまいります。

ほくでんグループは、引き続き感染拡大防止対策も徹底し、新型コロナウイルスの感染拡大防止と電力の安定供給に努めてまいります。

おしまいに、お手元に現在、当社が実施している「[エアコンキャンペーン](#)」のチラシを配布させていただきましたので後ほどご覧ください。

私からは以上です。